

リチウムイオン電池の 分別収集を

答 調査研究しながら
検討したい



問 ごみ処理施設において、リチウムイオン電池が原因の発火事故が増加しており、全国的な問題となっている。南風原町ではどのような対策を取っているか。

副町長 ごみ処理施設に搬入できないごみとして、役場窓口や協力店などで回収している旨をホームページやごみ分別ポスターで周知をしている。

問 実際はごみ処理施設に運ばれてきている。ごみ分別ポスターではリサイクル協力のお願だけなので、危険性

の啓発が必要ではないか。
総務部長 危険性や適切な取扱いをホームページ等で充実させて周知していきたい。

問 ワイヤレスイヤホンやハンディー扇風機などのプラスチック製品は、可燃ごみに出されるケースがあり、発火事



リチウムイオン電池混入防止ポスター
出典元: (公財)日本容器包装リサイクル協会



大城 重太 議員

故の原因になる。リチウムイオン電池内蔵の製品が可燃ごみに混入しないように、分別収集できるようにしてはどうか。

総務部長 回収している市町村もあるが、リチウムイオン電池の扱いには様々な制限があるので、まずは住民への周知を最優先に考え、分別回収は今後調査研究しながら検討したい。

フレックス制度の導入を

問 第5次南風原町行政改革大綱が策定され、ワークライ

フバランスの推進を図るとあるが、町職員も皆生活スタイルが違う中、個々が働きやすい環境が作られているか。
副町長 行政需要等に応じた職員、会計年度任用職員の適正配置による業務の平準化、DX推進による業務の効率化を図るなど、ワークライフバランスを推進し、職員が働きやすい環境づくりに努めている。

問 フレックス制度を導入し、育児・介護の両立支援や、若い職員の定着率向上を目指してはどうか。

副町長 休暇制度は十分整備されており、職員の定着率も高いと認識している。フレックス制導入は、本町の勤務形態や今後の働き方等を勘案し調査していく。

一こんな質問もしました
・スポーツ少年団員のパフォー
マンス向上を